

平成 15 年度事業報告

・事業の概要

1. 研究発表会

- (1) 3月18日、19日の両日、慶應義塾大学矢上キャンパスにおいて、第93回研究発表会を開催した。
- ・特別テーマ 「人とシステムとOR」
 - ・特別講演(一般公開)
 - 1) e-ビジネスの新たな展望 北城 格太郎 (IBMアジアパシフィックレジデント兼日本アイ・ビー・エム(株)代表取締役会長)
 - 2) 大学改革とORマインド 安西 祐一郎 (慶應義塾大学 塾長)
 - ・近藤次郎先生文化勲章受章記念講演会(一般公開)
 - 「国産旅客機YS-11の基本計画」 近藤 次郎 (日本OR学会元会長・名誉会員)
 - ・発表件数 122件
 - 一般発表 121件
 - 招待講演 1件
 - ・参加者数 355名
- (2) 9月10日、11日の両日、福岡大学において、第94回研究発表会を開催した。
- ・特別テーマ 「アジアに広がるOR」
 - ・特別講演(一般公開)
 - 1) 中国のORの現状と展望 章 祥 蓀 (中国OR学会会長)
 - 2) 日本のORの現状と展望 伏見 正 則 (南山大学 教授)
 - ・パネルディスカッション(一般公開)
 - 1) 中国の産業発展と日本の対応～生産基地から豊かな消費市場へ～
周 齊 (煙台市市長) 王 秀臣 (煙台市経済技術開発区委員長) 李 強 (煙台市経済顧問)
鈴木正徳 (九州経済産業局長) 久保善博 ((財)福岡県産業・科学技術振興財団専務理事)
永次 廣 (株安川電機会長)
 - ・発表件数 170件
 - 一般発表 167件 (うち部会報告 7件)
 - 招待セッション 3件
 - ・参加者数 362名
- また、12日には株安川電機モータマンセンター、日産自動車(株)九州工場を見学した。

2. シンポジウム

- (1) 3月17日、慶應義塾大学矢上キャンパスにおいて、第49回シンポジウム「数理計画の理論と実装」を開催した。講演6件。参加者は93名であった。
- (2) 9月9日、九州大学国際研究交流プラザにおいて、第50回シンポジウム「ORと数学」を開催した。講演4件。参加者は49名であった。
- (3) 9月25日、26日、東京工業大学百周年記念会館にて、第15回RAMPシンポジウムを開催した。セッションは「非線形最適化とその周辺」「日米加・最適化ロジスティクス」「バイオインフォマティクスと統計科学」、「大規模組合せ最適化問題への挑戦」、参加者は126名であった。

3. 研究部会・研究グループ

研究部会・研究グループ終了/中間報告

印 終了を示す

*印 研究グループを示す

印 常設部会を示す

部 会 名	主 査 事	メンバー	開催	内 容	場 所
待ち行列	滝 根 哲 哉 (京 都 大 学) 笠 原 正 治 (奈 良 先 端 科 学 技 術 大)	26 名	10 回	年間 8 回の定例研究会では、2 名の講演者を招き、各々 1 時間程度の講演と質疑応答を行っている。6 月には電子情報通信学会情報ネットワーク研究部会との共催で 2 日間のワークショップを、1 月には 2 泊 3 日の合宿形式シポジウムを行っている。	東京工業大学
OR/MSとシステム・マネジメント	六 十 里 繁 (千 葉 商 科 大 学) 田 中 宏 和 (神 奈 川 工 科 大 学)	13 名	6 回	本年度は 6 回の研究部会を開催した。本研究部会は講師を招聘し、これらの講演を基に企業経営、システム等の組織体の企画・管理・運営に生かすための知見を収集し、概念、理論、方策等に関する議論・意見交換を行った。	東京工業大学
数理計画 (RAMP)	福 島 雅 夫 (京 都 大 学) 山 下 信 夫 (京 都 大 学)	30 名	1 回	第 15 回シポジウムを 9 月 25・26 日に開催した (参加 126 名)。非線形最適化、ハイパーメトリクス、組合せ最適化、ロジスティクスの 4 セッションを設け数理計画の理論、計算法、応用等に関する情報交換を行った。	東京工業大学
統合オペレーション	梅 沢 豊 (大 東 文 化 大 学) 中 野 一 夫 (構 造 計 画 研 究 所)	25 名	6 回	体制の検討にかなりの時間とエネルギーをかけた。結果として、当面、東日本、中部、関西、中国、九州にグループを置き、それぞれ独立して、あるいは連携して研究を推進する枠組みができた。OR 誌 12 月号の特集に研究成果の一部を報告	学 士 会 館
評価の OR	刀 根 薫 (政 策 研 究 大 学 院 大 学) 篠 原 正 明 (日 本 大 学)	28 名	6 回	DEA では Malmquist index、DEA ゲーム、応用では広告媒体、国立病院、資産運用会社の効率性分析に関する発表が、AHP では同時収束法、相互評価における不可能性定理、応用では債券ポートフォリオ構築等に関する発表があった。また野球ゲームの最適ライナップ選定に関する研究も行われた。	政策研究大学院大学
グローバル・プロジェクトの OR	高 森 寛 (青 山 学 院 大 学) 三 浦 英 俊 (明 海 大 学)	18 名	11 回	本研究部会では、グローバルインフラストラクチャーの計画および構築における諸問題に関連したフレームワークの整理と問題解決のための OR モデルの開発を目的として研究をすすめた。	日本 GIF 財団

部 会 名	主 査 事	メ ン バ -	開 催	内 容	場 所
COM・APS (先進的スケジューリング)	西 岡 靖 之 (法政大学) 今 泉 淳 (東洋大学)	17名	8回	全体最適化のコンセプトに基づくAPS手法を基点に、生産スケジューリングやサプライチェーンマネジメントの方法論の現状を概観し、ORが寄与すべき側面や将来の方向性に関して、実務の現状を踏まえて議論した。	青山学院大学
数理情報工学的意思決定とその応用	吉 富 康 成 (京都府立大学) 小 出 武 (流通科学大学)	13名	6回	関西で研究会を開催した。リカメシメント、市場のモデル化、サプライチェーン、バリエーション、グラフとネットワーク、分割問題、農業計画、7集合などの報告があり、活発な質疑応答が行われた。	京都府立大学
PFI(インフラ民活プロジェクト)	若 山 邦 紘 (法政大学) 浦 谷 規 (法政大学)	9名	12回	本研究部会のテーマはPFIにおけるOR的諸問題である。本年度は、国内外におけるPFI事例を使い、リスク分析、BOT、BTO方式の経済的比較、また、交渉ゲームや最適化の視点からの考察を試みた。	青山学院大学
不確実性下のモデル分析とその応用	古 川 哲 也 (九州大学) 時 永 祥 三 (九州大学)	29名	6回	不確実性下のモデル分析とその応用に関して、主としてOR学会九州支部の会員の研究者により研究発表を実施し、相互に討論を行ったその成果に関しては、OR学会の論文誌やその他の学会の論文誌、学内の紀要として掲載されている	九州大学
マーケティング・データ解析	田 口 東 (中央大学) 生 田 目 崇 (専修大学)	30名	10回	マーケティングのデータ解析技術についてモデル化やその適用方法について議論した。マーケティング・データ解析に関する講演と、共通のデータに対する解析を競う「データ解析コンペティション」を中心に活動した。	立教大学
アルゴリズム	岩 田 覚 (東京大学) 宮 本 裕 一 郎 (上智大学)	30名	7回	年間6回の研究会を開き、毎回約2名の講演者を招いて、問題解決の数理的手法としてのアルゴリズムに関する研究発表が13件あり、活発な質疑応答・情報交換が行われた。他に合宿形式の研究会を行い、3件の招待講演・特別講演と21件の一般発表を行った。	東京大学
意思決定とOR	前 田 隆 (金沢大学) 桑 野 裕 昭 (金沢学院大学)	14名	5回	主に北陸地区のOR各分野の専門家が参集し、担当者・開催場所を変えて研究集会を開催した。研究発表は大学所属研究者・院生によるものが多くを占め、内容は理論や手法、事例研究であった。	金沢大学

部 会 名	主 査 事	メ ン バ -	開 催	内 容	場 所
ゲームと実験	武 藤 滋 夫 (東京工業大学) 猪 原 健 弘 (東京工業大学)	50名	11回	本年度は10回の研究会と1回のショートコースを開催した。国内外からの報告が合計11件あり、今後のゲーム理論および実験経済学の発展の方向および応用分野の可能性について有意義な意見の交換を行うことができた。	東京工業大学
食糧・環境問題とOR	石 井 博 昭 (大阪大学) 塩 出 省 吾 (神戸学院大学)	12名	5回	食糧・環境問題における研究活動の活発化を図るため、当該分野の研究報告がなされた。様々な視点からの報告があり、ORによる研究可能性を探る上で、有意義な意見交換を行うことができた。	関西福祉大学
*不確実環境下での意思決定法	河 村 一 知 (防衛大学校) 岩 村 覚 三 (城西大学)	12名	6回	昨年度に続いて不確実環境下での意思決定法を中心にその周辺の諸問題について、有益な研究発表があった。年末には千葉大学においてシンポジウムを開催し9名の参加により5件の研究発表があった。	日 科 技 連

4. 普及活動

(1) 定例講演会

開 催 年 月	テ ー マ	講 師	参加人数	開催地区
15年5月	ハイパーテキストシティ構想 - まちづくりマーケティングのビジネスモデル -	斎藤 参 郎	25名	九州
15年11月	A Returns Policy for Distribution Channel Coordination of Perishable Items	Hark Hwang	12名	関西
	Some Open Question of Fair Division	Milan Vlach		
15年12月	システム設計における安全性の一側面	長谷川利治	12名	中部

(2) ORセミナー

・第1回「日本の消費財サプライチェーンマネジメントの最先端と展望」を8月26日、(株)構造計画研究所で開催した。参加者34名。

題 目	講 師
日本におけるSCM	松 尾 博 文 (筑波大学)
日本における卸ロジスティクスの最先端	加 藤 弘 貴 (流通経済研究所)
日本の食品メーカーSCMの実際	杉 垣 隆 文 (サッポロビール)
日本のアパレル流通とコラボレーション取引の実際	中 村 守 孝 (伊勢丹)
パネルディスカッション「日本の消費財SCMの展望」	

・第2回「経営効率評価法 DEA の理論と応用」を11月18日、(株)構造計画研究所で開催した。参加者24名。

題 目	講 師
包絡分析法 DEA の概要	刀 根 薫 (政策研究大学院大学)
DEA の拡張モデル	山 田 善 靖 (東京理科大学)
DEA 効率性の確率的評価	森 田 浩 (大阪大学)
DEA による国立病院の効率性測定	河 口 洋 行 (国際医療福祉大学)
DEA の様々な応用	上 田 徹 (成蹊大学)

・第3回「ブランド価値のモデル化に向けて」を2月10日、ホテルグランドヒル市ヶ谷で開催した。参加者36名。

題 目	講 師
熱中顧客モデルによるブランド健康診断	片 平 秀 貴 (東京大学)
プロダクト空間とブランド空間を考慮したジョイント・スペース・マップ - 北米ピックアップ・トラック市場への応用 -	阿 部 誠 (東京大学)
技術のブランド化とそのマネジメント	岡 本 智 (日産自動車)
カテゴリー視点からのブランドの評価	里 村 卓 也 (大阪大学)
ブランド・ロイヤルティによる消費者のセグメンテーション	守 口 剛 (立教大学)

(3) OR企業フォーラム

開 催	テ ー マ と ゲ ス ト ス ピ ー カ ー	参加者
第 1 回 (15.11.25) 学 士 会 館	エネルギー競争と OR 東京ガス(株) 常務執行役員 R&D 本部長 前田忠昭	34 名
第 2 回 (16.1.21) 於 : 大 阪	新事業開発と OR - Optimal から Preferred へ - 松下電工(株) 取締役専務執行役員情報機器事業分社社長 野村淳二	42 名

(4) 企業事例交流会

- ・第11回企業事例交流会は、第93回研究発表会(慶應義塾大学)にて3月18日開催。発表件数4件。
- ・第12回企業事例交流会は、第94回研究発表会(福岡大学)にて9月10日開催。発表件数4件。

(5) 新宿 OR 研究会

昭和55年創設以来、年間10回の例会を開催している。テーマはOR関係の最近の動向に留まらず会員推薦の各界の話題など極めて広範、かつ時宜に適ったもので、メンバーの啓発、懇親を行っている。会誌

に開催案内を掲載し、新宿地区を中心に会員の幅広い参加を呼びかけている。

5. 刊行物

- (1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」Vol.48, No.3 から Vol.49, No.2 まで 12 号 (本文 921 ページ) を発行した。各号は特集を主とし、他に論文・事例研究、論文・研究レポート、解説、連載講座、学生論文賞受賞論文要約、情報の窓、研究部会報告等を掲載した。

特集のテーマは次のとおりであった。

Vol.48, No.3 「最近のネットワーク工学技術の動向」, 同 No.4 「AHP の応用」, 同 No.5 「医療・福祉の経済分析」, 同 No.6 「ロジスティクス・システムの新潮流」, 同 No.7 「ネットワークシステムのセキュリティ評価と危機管理」, 同 No.8 「企業事例」, 同 No.9 「ABC と TOC の対立と統合」, 同 No.10 「ブランド価値のモデル化に向けて」, 同 No.11 「まちづくり・基盤整備と OR」, 同 No.12 「統合オペレーションの戦略・マネジメント」, Vol.49, No.1 「鉄道 OR 見聞録」, 同 No.2 「データ解析コンペティション：小売業における CRM (2)」

- (2) 論文誌 (Journal of the Operations Research Society of Japan) Vol.46, No.1 から Vol.46, No.4 まで (541 ページ) を発行した。本年度の投稿論文は 116 編 (再投稿 40 編を含む) で、掲載論文は 32 編であった。

- (3) 研究発表会アブストラクト集およびシンポジウム予稿集

春季・秋季研究発表会のアブストラクト集およびシンポジウム予稿集を発行した。

- (4) セミナーテキスト

「日本の消費財サプライチェーンマネジメントの最先端と展望」, 「経営効率評価手法 DEA の理論と応用」, 「ブランド価値のモデル化に向けて」に関するテキストを発行した。

6. 日本学術会議並びに他学協会との連携・協力

- (1) 日本学術会議関連

第 19 期学術会議会員の選出が行われ、第 5 部の経営工学の会員には久米均氏 (中央大学) が 3 選され、第 3 部経営学の経営工学関連会員には能勢豊一氏 (大阪工業大学) が初選出された。当学会は第 5 部人工物設計・生産研究連絡委員会、経営管理工学専門委員会の専門委員に矢部博氏 (東京理科大学) を派遣している。

なお、第 19 期の経営工学研究連絡委員会委員には、久米均氏、棟近雅彦氏 (早稲田大学、品質管理学会、幹事)、渡辺一衛氏 (成蹊大学) が就任、経営管理工学専門委員会委員長には圓川隆夫氏 (東京工業大学、日本経営工学会)、幹事は矢部博氏の体制となっている。

- (2) 経営工学関連学会協議会 (FMES) 関連

上記学術会議の委員会の役割とともに以下のシンポジウム、JABEE の仕事を行うために関連 9 学会が再立ち上げし、平成 12 年 12 月から活動している。

シンポジウム委員会

学術会議委員会と構成 9 学会が共催して行なうシンポジウムの実行委員会であり、当学会は研究普及担当の理事相澤、矢部氏が委員に就任、委員会活動に参加した。今年度の第 19 回シンポジウムはプロジェクトマネジメント学会が幹事となり、平成 15 年 12 月 5 日「経営工学と企業の社会的責任 (CSR : Corporate Social Responsibility)」と題して日本学術会議講堂にて開催された。

FMES / JABEE 委員会

JABEE 大学教育プログラム認定作業に参加するため FMES が設置した委員会であり、当学会からは委員に矢部博氏 (東京理科大学)、水野眞治氏 (東京工業大学) が参加している。

今年度からは本格審査に取り組んだが、その審査に若山邦紘氏 (法政大学)、木嶋恭一氏 (東京工業大学) が参加するとともに、経営工学分野としての審査結果の調整、判定を担当する審査委員会には森雅夫氏 (慶應義塾大学)、木嶋恭一氏 (東京工業大学) がそれぞれ参加している。

経営工学関連協議会では、参加学会から年会費（運営費）10万円の会費を集め、前記の委員会活動を実施し、当面の幹事学会は当学会が担当している。現在の加盟学会は、（社）日本経営工学会、（社）日本品質管理学会、日本開発工学会、日本信頼性学会、研究・技術計画学会、日本設備管理学会、経営情報学会、プロジェクトマネジメント学会、および当学会の9学会である。

(3) 日本技術者教育認定機構（JABEE）

当学会は2001年2月に正会員として加入（会費1口10万円）するとともに上記FMESグループとして加入、その幹事会費分（日本経営工学会、日本品質管理学会と当学会の3学会が各10万円）を負担している。

既述の通り、大学教育プログラムの認定作業を実施している。経営工学分野では本年度、2大学で実施された。

(4) (社)日本工学会関連

工学系94学協会の連合体である(社)日本工学会の諸活動に協力し、また同会事務研究委員会に委員1名(事務局長)が参加している。

なお、日本工学会の事務混乱は関係者の努力により收拾されたが、財政再建には2～3年を必要とされている。

(5) 横断型基幹科学研究団体連合（略称：横幹連合）

この連合は「社会発展の基礎となる新しい価値体系である横断型基幹科学技術の重要性を提唱し、その創造と進歩に資する活動を行うこと」を目的に計測自動制御学会、FMESメンバーなど30学会が参加して、平成15年4月に設立総会を開催し、正式発足した。当学会からは代議員として真鍋龍太郎氏（文教大学）、理事として今野浩氏（中央大学）、出版委員として杉野隆氏（国土館大学）が派遣されている。

7. 受託研究活動

学会の公益活動の一環として、本年度も前年度に引き続き、(財)グローバル・インフラストラクチャー研究財団からの受託研究を「グローバル・プロジェクトのOR」研究部会を窓口を実施した。

8. 国際協力

(1) IFORS (International Federation of Operational Research Societies) を通じて各国のOR学会との交流、協力を図った。

(2) APORS (Association of Asian-Pacific Operational Research Societies) の事務局長として大山達雄氏（政策研究大学院大学）を選出し、アジア・太平洋地域のORの発展と加盟学会の情報交換に協力した。また、2003年12月に第6回APORS2003が開催され、日本から10数名が参加した。

(3) IAOR (International Abstracts in Operations Research) の編集、発行に協力し、日本の文献抄録を送付するとともに、IAORのVol.52 No.1～No.8の国内頒布に協力した。

(4) APJOR (Asia-Pacific Journal of Operational Research) の編集、発行、頒布に積極的に協力した。

(5) EJOR (European Journal of Operational Research) の編集、頒布に協力した。

9. 他学協会との交流

他学協会の下記講演会等に協賛、後援した。

- ・Eco Design2003（エコデザイン学会連合）
- ・ネットワークが変える研究製造環境（化学工学会）
- ・経営情報学会シンポジウム（経営情報学会）
- ・平成15年度講習会（計測自動制御学会）
- ・計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会2003（計測自動制御学会）
- ・チュートリアル・セミナー（計測自動制御学会）

- ・ 第 46 回自動制御連合講習会（システム制御情報学会）
- ・ 第 53 回システム制御情報講習会（システム制御情報学会）
- ・ 第 46 回人工知能セミナー（人工知能学会）
- ・ スケジューリング・シンポジウム 2003（スケジューリング学会）
- ・ 第 33 回信頼性・保全性シンポジウム（日本科学技術連盟）
- ・ 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2003（日本学術会議）
- ・ 21 世紀におけるものづくりのシステムデザイン（日本学術会議第 5 部）
- ・ 第 34 回国際シミュレーション&ゲーミング学会大会（日本学術会議および日本シミュレーションゲーミング学会）
- ・ 第 5 回日本感性工学会年次大会（日本感性工学会）
- ・ No.03-05 生産システム部門講演会 2003（日本機械学会）
- ・ No.03-35 講習会（日本機械学会）
- ・ No.03-59 講習会（日本機械学会）
- ・ 第 22 回日本シミュレーション学会大会（日本シミュレーション学会）
- ・ 第 16 回信頼性シンポジウム（日本信頼性学会）
- ・ 第 11 回研究発表会（日本信頼性学会）
- ・ ロジスティクス IT フォーラム（日本ロジスティクスシステム協会）
- ・ 非線形解析学と凸解析学に関する第 3 回国際会議（非線形解析学と凸解析学に関する国際会議組織委員会）
- ・ 国際会議 MIC2003（MIC2003 実行委員会）

10. 支部活動

各支部ごとに次のとおり活動した。

支 部 活 動 報 告

	北海道	東北	中部	関西	中国四国	九州
運営会議	支部総会 1回 運営委員会 1回	支部総会 1回 運営委員会 1回	支部総会 1回 運営委員会 1回 幹事会 3回	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会・幹事会 1回
研究会			研究会 3回 研究発表会 1回	研究会 42回		研究会 2回
講演会	講演会 3回	講演会 2回	定例講演会 1回 講演会 1回	講演会 3回	講演会 1回	
講習会						
出版			支部ニュース 8回 アブストラクト集 1回	支部ニュース レター 6回		
その他		平成16年春季 研究発表会実 行委員会 5回	三学会共催講 演会 1回 見学会 2回	第2回OR企 業フォーラム 開催	シンポジウム 2回 共催研究会 1回 共催セミナー 1回	第50回シンポ ジウム 平成15年春季 研究発表会 見学会

11. 表彰

(1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞

第32回文献賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- ・ New Results on Monotone Dualization and Generating Hypergraph Transversals
SIAM Journal on Computing 32
牧野和久(大阪大学)

- (2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会普及賞
第 29 回普及賞の選考を行い、以下のとおり決定した。
- ・大 野 勝 久 (名古屋工業大学)
 - ・高 森 寛 (青山学院大学)
- (3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会実施賞
第 28 回実施賞の選考を行い、下記のとおり決定した。
株式会社 NTT データ
- (4) 日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究賞
第 24 回事例研究賞の選考を行い、以下のとおり決定した。
- ・テレビ番組 CM の割付に対する数理的アプローチ
 - ・テレビ番組 CM の割付に対する解法
- 日本オペレーションズ・リサーチ学会平成 15 年秋季研究発表会アブストラクト集
- 大 西 浩 志、石 田 健 仁、青 山 浩 之 (㈱ビデオリサーチ)
 - 猿 渡 康 文 (筑波大学)、猪 飼 美 羽 (東京工業大学)
- ・A Subproblem-centric Model and Approach to the Nurse Scheduling Problem
Mathematical Programming Vol.97, No.3
池 上 敦 子 (成蹊大学)
- (5) 日本オペレーションズ・リサーチ学会業績賞
第 5 回業績賞の選考を行い、以下のとおり決定した。
高 橋 幸 雄 (東京工業大学)
- (6) 日本オペレーションズ・リサーチ学会学生論文賞
第 21 回学生論文賞の選考を行い、以下のとおり決定し、授賞を行った。
- ・マルチンゲール変換を用いたアメリカンオプション価格の上限評価
上 園 智 大 (東京工業大学・修士論文)
 - ・A Two-Phase Optimization Method for Virtual Topology Design and
Routing of Multi-Hop WDM Networks
佐 藤 圭 介 (筑波大学・卒業論文)
 - ・移動時間コスト関数を考慮した時間枠つき配送計画問題に対する局所探索法
橋本英樹 (京都大学・卒業論文)

処務の概要

1. 役員に関する事項

理事 非常勤 監事 非常勤
 定数：12人から16人 (現在：16人) 定数：2人 (現在：2人)
 任期：2年 任期：2年

理事・監事の役職	氏名	常勤 非常勤 の別	就任		担当職務	職名
			就任年月日	登記年月日		
理事(会長)	小笠原 暁	非常勤	14.4.19	14.5.16	会務の総理	
"(副会長)	真鍋龍太郎	"	14.4.19	14.5.16	"	文教大学教授
"(")	腰塚武志	"	15.4.24	15.5.15	"	筑波大学教授
"(")	中野一夫	"	"	"	"	(株)構造計画研究所執行役員製造・IT営業部長
"(庶務)	山上伸	"	14.4.19	14.5.16	庶務	(株)関配取締役システム企画部長
"(")	山下英明	"	15.4.24	15.5.15	"	東京都立大学教授
"(会計)	山下浩	"	14.4.19	14.5.16	会計	(株)数理システム代表取締役社長
"(研究普及)	相澤りえ子	"	14.4.19	14.5.16	研究普及	(株)構造計画研究所数理技術部部長
"(")	矢部博	"	15.4.24	15.5.15	"	東京理科大学教授
"(編集)	宮沢政清	"	14.4.19	14.5.16	論文誌編集	東京理科大学教授
"(")	杉野隆	"	15.4.24	15.5.15	機関誌編集	国土館大学教授
"(国際)	栗田治	"	"	"	国際	慶應義塾大学教授
"(無任所)	井ノ口輔胖	"	14.4.19	14.5.16	無任所	三重県地域振興部長
"(")	斎藤参郎	"	"	"	"	福岡大学教授
"(")	田畑吉雄	"	"	"	"	大阪大学教授
"(")	石川明彦	"	15.4.24	15.5.15	"	岩手大学教授
監事	平尾信正	"	14.4.19	14.5.16	定款19条	
"	古林隆	"	15.4.24	15.5.15	"	法政大学教授

2. 職員に関する事項

区 分	専 任 者		備 考
	有 給 者		
	人 数	左の人数の基本給 (年度末月額)	
事務職員	3人	800,500(円)	
計	3人	800,500(円)	

3. 会議に関する事項

(1) 臨時総会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
15.3.19	1. 定款細則改訂の件 2. 倫理規定の件 3. 名誉会員推薦の件 4. 平成15年度事業計画の件 5. 平成15年度予算の件	承認 " " " "

(2) 通常総会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
15.4.24	1. 平成14年度事業報告の件 2. 平成14年度収支計算報告および監査報告の件 3. 平成15年度16年度役員選任の件 4. 定款細則改訂の件	承認 " " "

(3) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
15.5.19	1. 平成14年度第7回理事会議事録の件 2. 平成15年度通常総会議事録の件 3. 入退会承認の件 4. 平成15年度委員会委員・幹事委嘱の件 5. 第50回シンポジウム予算案の件 6. 平成15年秋季研究発表会の件 7. 平成16年春季研究発表会の件 8. 平成15年度ORセミナー予定の件 9. 基本問題検討委員会答申への取組みの件 10. 交通費・会議費の件	承認 " " " " " " " " "
15.7.22	1. 平成15年度第1回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件 3. 第1・四半期収支報告の件 4. 第21回学生論文賞候補の件 5. 情報コミュニケーション委員会委員委嘱の件 6. 会長候補者選考委員会委員選挙の件 7. 公認会計士委嘱契約の件 8. 第19回FMESシンポジウムの件	承認 " " " " " " 了承

・その他の委員会・幹事会

庶務幹事会	6 回	会長候補者選考委員会	1 回
情報コミュニケーション委員会	6 回	企業フォーラム企画委員会	3 回
フェロー会議	1 回	研究部会主査会議	1 回

4．許可・認可・承認・証明に関する事項

該当なし

なお、職員就業規則、職員給与規定について一部改訂をした。

5．契約に関する事項

公認会計士との委嘱契約

平成 15 年 9 月から公認会計士大内明氏と税務代理、税務書類作成、税務相談、会計相談の事項を委嘱する契約を取り結んだ。

6．寄付金に関する事項

該当なし

7．主務官庁の指示に関する事項

平成 13 年 6 月実施検査に基づく平成 14 年 5 月の実施検査結果指摘事項に対する改善報告書を提出した（平成 15 年 4 月）。

8 . 会 員 状 況

(1) 入 退 会 内 訳

		名 誉 会 員	正 会 員	学 生 会 員	賛 助 会 員		合 計	
					A 種	B 種		
平成15年2月末日		11	2,293	295	76(94)	23(23)	2,698	
平 成 15 年 度	入 会		58	102	2(2)	2(2)	164(4)	
	移 動	学 正		66	66			
		正 学		2	2			
		正 名	1	1				
	退 会		130	35	8(9)	4(4)	177(13)	
	除 名		25	33			58	
	復 活		3				3	
純 増 減		1	31	30	6 (7)	2 (2)	68 (9)	
平成16年2月末日		12	2,262	265	70(87)	21(21)	2,630	

() は口数

(2) 地 域 別 内 訳

	名 誉 会 員	正 会 員	学 生 会 員	賛 助 会 員	
				A 種	B 種
本 部	9	1,313	191	50(64)	16(16)
北 海 道		85	7	1(1)	
東 北		86	0	1(2)	
中 部	1	189	17	3(3)	1(1)
関 西	2	328	38	11(11)	3(3)
中国・四国		133	6	3(5)	
九 州		128	6	1(1)	1(1)
合 計	12	2,262	265	70(87)	21(21)

() は口数

平成15年度収支計算書

収支計算総括表

平成15年3月1日から平成16年2月29日

(単位：円)

1 収入の部	
科 目	一 般 会 計
基本財産運用収入	1,500
入会金収入	148,200
会費収入	43,951,440
事業収入	17,499,882
その他収入	7,621,512
当期収入合計	69,222,534
前期繰越収支差額	19,891,398
収入合計	89,113,932
2 支出の部	
科 目	一 般 会 計
管 理 費	33,776,616
事 業 費	35,184,096
当期支出合計	68,960,712
次期繰越収支差額	20,153,220
(当期収支差額)	(261,822)
支出合計	89,113,932

収 支 計 算 書

平成15年3月1日から平成16年2月29日

1. 一般会計

(単位：円)

1) 収入の部			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
勘 定 科 目	大 科 目	中 科 目				
基本財産運用収入						
		基本財産利息収入	10,000	1,500	8,500	
入会金収入						
		正会員入会金収入	120,000	87,000	33,000	
		学生会員入会金収入	60,000	61,200	1,200	
会費収入						
		正会員会費収入	32,429,000	32,443,620	14,620	
		学生会員会費収入	1,500,000	1,710,820	210,820	
		賛助会員会費収入	9,939,000	9,797,000	142,000	
事業収入						
		会誌頒布収入	6,400,000	5,612,850	787,150	
		研究発表会収入	5,000,000	5,487,332	487,332	
		シンポジウム収入	2,100,000	1,861,000	239,000	
		セミナー収入	1,800,000	2,075,000	275,000	
		資料等頒布収入	300,000	143,000	157,000	
		I A O R 収入	375,000	330,000	45,000	
		E J O R 収入	418,000	903,200	485,200	
		A P J O R 収入	92,500	87,500	5,000	
		受託研究収入	1,000,000	1,000,000	0	
その他収入						
		論文投稿掲載料収入	900,000	2,088,658	1,188,658	
		広告収入	6,000,000	4,722,000	1,278,000	
		受取利息	100,000	18,120	81,880	
		名簿収入	0	16,000	16,000	
		O R 事典収入	0	25,000	25,000	
		事務委託収入	150,000	220,000	70,000	

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
	退職給与引当金		0	0	0	
	取崩収入					
	記念事業引当金		0	0	0	
	取崩収入					
	表彰事業引当金		100,000	100,000	0	
	取崩収入					
	国際協力引当金		0	0	0	
	取崩収入					
	OA化引当金取崩収入		0	0	0	
	別途引当金取崩収入		4,132,250	0	4,132,250	
	雑 収 入		800,000	431,734	368,266	
当 期 収 入 合 計			73,725,750	69,222,534	4,503,216	
前期繰越収支差額			19,891,398	19,891,398	0	
収 入 合 計			93,617,148	89,113,932	4,503,216	
2) 支出の部						
勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
管 理 費						
	家 賃		4,044,600	3,807,820	236,780	
	共 益 費		1,630,000	1,625,400	4,600	
	事 務 用 品 費		150,000	0	150,000	
	会 議 費		800,000	179,920	620,080	
	旅 費 交 通 費		2,000,000	1,787,590	212,410	
	通 信 費		1,350,000	1,018,415	331,585	
	印 刷 費		600,000	452,655	147,345	
	消 耗 品 費		300,000	96,285	203,715	
	OA化準備費		300,000	361,252	61,252	
	リ ー 入 料		600,000	477,204	122,796	
	修 繕 費		50,000	0	50,000	
	給 料 手 当		18,000,000	18,064,420	64,420	
	福 利 厚 生 費		2,500,000	2,312,662	187,338	
	臨 時 雇 賃 金		2,000,000	1,891,400	108,600	
	退 職 金		0	0	0	
	保 険 料		50,000	9,600	40,400	
	負 担 金		110,000	3,500	106,500	
	支 払 手 数 料		230,000	269,858	39,858	

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
事 業 費	租 税 公 課		80,000	70,000	10,000	
	退職給与引当金繰入		200,000	736,100	536,100	
	雑 費		100,000	46,705	53,295	
	損 金		800,000	565,830	234,170	
	研究発表会					
		開 催 費	3,620,000	4,046,045	426,045	
		印 刷 費	1,380,000	960,720	419,280	
	印刷製本費					
		機 関 誌	10,000,000	10,181,277	181,277	
		論 文 誌	2,800,000	2,092,924	707,076	
		報 文 集	0	0	0	
		印 刷 費	40,000	38,798	1,202	
	国際協力費					
		I F O R S 会 費	408,000	357,325	50,675	
		I A O R 購 入 費	388,000	342,000	46,000	
		E J O R 購 入 費	407,000	428,050	21,050	
		A P J O R 購 入 費	63,000	93,616	30,616	
		A P O R S 関 係 費	300,000	133,380	166,620	
	研究活動費					
		シンポジウム開催費	2,100,000	1,696,393	403,607	
		セミナー開催費	1,275,000	1,268,628	6,372	
		O R 企 業 フォーラム	900,000	482,589	417,411	
		研究部会費	675,000	675,000	0	
	支 部 費	2,301,280	2,301,280	0		
	表彰事業費	457,000	436,547	20,453		
	会 議 費	400,000	113,652	286,348		
	旅 費 交 通 費	750,000	368,405	381,595		
	通 信 運 搬 費	6,300,000	6,110,264	189,736		
	諸 謝 金	1,300,000	1,379,721	79,721		

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
その他支出 予備費	消耗品費		400,000	258,582	141,418	
	受託研究支出金		1,000,000	1,000,000	0	
	F M E S ・ 研 連 関係費		500,000	418,900	81,100	
	雑 費		66,870	0	66,870	
	予 備 費		0	0	0	
当 期 支 出 合 計			73,725,750	68,960,712	4,765,038	
次期繰越収 支差額			19,891,398	20,153,220	0	
(当 期 収 支 差 額)			0	(261,822)	(261,822)	
支 出 合 計			93,617,148	89,113,932	4,503,216	

正味財産増減総括表

平成15年3月1日から平成16年2月29日

(単位：円)

科 目	一 般 会 計
.増 加 の 部	
当期収支差額	261,822
増加額合計	261,822
.減 少 の 部	
減少額合計	0
.合 計 の 部	
当期正味財産増加額	261,822
当期正味財産減少額	0
前期繰越正味財産	24,891,398
期末正味財産合計額	25,153,220

正味財産増減計算書

平成15年3月1日から平成16年2月29日

1. 一般会計

(単位：円)

科 目	金 額	
. 増加の部		
当期収支差額	261,822	
増加額合計		261,822
. 減少の部		
当期収支差額	0	
減少額合計		0
. 合計の部		
当期正味財産増加額		261,822
前期繰越正味財産		24,891,398
期末正味財産合計額		25,153,220

貸借対照表総括表

平成16年2月29日

(単位：円)

1 資産の部			
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
			I F O R S
流 動 資 産 合 計	36,872,097	35,751,682	1,120,415
固 定 資 産 合 計	77,389,931	77,389,931	0
資 産 合 計	114,262,028	113,141,613	1,120,415
2 負債の部			
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
			I F O R S
流 動 負 債 合 計	28,914,978	28,914,978	0
固 定 負 債 合 計	60,193,830	59,073,415	1,120,415
負 債 合 計	89,108,808	87,988,393	1,120,415
3 正味財産の部			
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
			I F O R S
基 本 金	5,000,000	5,000,000	0
剰 余 金	20,153,220	20,153,220	0
正 味 財 産 合 計	25,153,220	25,153,220	0
負債及正味財産合計	114,262,028	113,141,613	1,120,415

貸借対照表

平成16年2月29日

1. 一般会計

(1) 資産の部

(単位：円)

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動資産	現金預金	33,589,150	
	未収金	1,647,392	
	前払金	6,440	
	仮払金	508,700	
流動資産合計			35,751,682
固定資産 その他の固定資産	敷金	1,596,000	
	諸引当預金	75,793,931	
その他の固定資産合計			77,389,931
資産合計			113,141,613

(2) 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動負債	預り金	539,413	
	前受金	28,334,615	
	仮受金	40,950	
流動負債合計			28,914,978
固定負債	退職給与引当金	6,202,800	
	敷金引当金	3,621,640	
	名簿引当金	800,000	
	国際協力引当金	6,000,000	
	記念事業引当金	11,143,931	
	表彰事業引当金	5,000,000	
	OA化引当金	7,500,000	
	OR事典等引当金	1,800,000	
	別途引当金	17,005,044	
固定負債合計			59,073,415
負債合計			87,988,393

(3) 正味財産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
基本金 剰余金	基本金	5,000,000	
	次期繰越収支差額 (うち当期増減額)	20,153,220 (261,822)	
剰余金合計			20,153,220
正味財産合計			25,153,220
負債及び正味財産合計			113,141,613

2. 特別会計 (IFORS会議)

(1) 資産の部

(単位:円)

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動資産	現金預金	1,120,415	
	流動資産合計		1,120,415
資産合計			1,120,415

(2) 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
固定負債	IFORS特別会計積立金	1,120,415	
	固定負債合計		1,120,415
負債合計			1,120,415

財 産 目 録

平成16年2月29日

1. 一般会計

(単位：円)

	金	額
(資産の部)		
. 流動資産		
1. 現金預金		
(1) 現金		
現金手許有高	792,180	
(2) 振替貯金		
東京振替貯金局	5,233,258	
根津振替貯金	5,840	
振替貯金2	1,904,730	
(3) 当座預金		
みずほ銀行根津駅前支店	25,586	
三井住友銀行白山支店	5,731	
(4) 普通預金		
みずほ銀行根津駅前支店	12,782,804	
三井住友銀行白山支店	3,664,991	
東京三菱銀行千駄木支店	9,174,030	
2. 未収金		
平成15年度会費他	1,647,392	
3. 前払金		
研究発表会開催費他	6,440	
4. 仮払金		
研究発表会開催費他	508,700	
		35,751,682
. その他の固定資産		
(1) 敷金	1,596,000	
(2) 定期預金		
みずほ銀行根津駅前支店	36,643,931	
三井住友銀行白山支店	8,150,000	
東京三菱銀行千駄木支店	31,000,000	
		77,389,931
資産合計		113,141,613

	金	額
(負債の部)		
.流動負債		
1.預り金		
職員に対する源泉所得税他	539,413	
2.仮受金		
学生会員会費他	40,950	
3.前受金		
平成16年度会費他	28,334,615	
.固定負債		
1.退職給与引当金	6,202,800	
2.敷金引当金	3,621,640	
3.名簿作成引当金	800,000	
4.国際協力引当金	6,000,000	
5.記念事業引当金	11,143,931	
6.表彰事業引当金	5,000,000	
7.OA化引当金	7,500,000	
8.OR事典等引当金	1,800,000	
9.別途引当金	17,005,044	
負債合計		87,988,393
正味財産		25,153,220

注：基本財産たる資産

定期預金（みずほ銀行根津駅前支店） 5,000,000

退職給与引当金は要支給額の100%を計上

2. 特別会計（IFORS会議）

（単位：円）

	金	額
(資産の部)		
・流動資産		
1.現金預金		
(1)現金	0	
(2)普通預金		
東京三菱銀行千駄木支店	157,917	
(3)定期預金		
東京三菱銀行千駄木支店	962,496	1,120,413
・有形固定資産	0	0
資 産 合 計		1,120,413
(負債の部)		
・流動負債	0	0
・固定負債		
IFORS特別会計積立金	1,120,413	1,120,413
負 債 合 計		1,120,413
正 味 財 産		0

平成16年度17年度役員候補者名簿

会務役職	定 数	候 補 者	備 考(非改選役員)
会 長	1(1)	今 野 浩	
副 会 長	3(1)	鈴 木 道 夫	腰 塚 武 志
”			中 野 一 夫
庶 務	2(1)	齋 藤 司 郎	山 下 英 明
国 際	1(0)		栗 田 治
研究普及	2(1)	藤 野 直 明	矢 部 博
編 集	2(1)	加 藤 直 樹	杉 野 隆
会 計	1(1)	枇 々 木 規 雄	
無 任 所	4(3)	能 勢 豊 一	石 川 明 彦
		水 野 眞 治	
		矢 島 安 敏	
監 事	2(1)	高 井 英 造	古 林 隆

()内は平成16年度改選数

第 4 号 議 案

平成 16・17 年度代議員候補者名簿

	氏 名		氏 名		氏 名
1	相澤りえ子	26	小金澤章吾	51	牧本直樹
2	青沼君明	27	小島平夫	52	増山 繁
3	井垣伸子	28	小谷重徳	53	松井知己
4	伊倉義郎	29	後藤義雄	54	松尾俊彦
5	生駒憲治	30	近藤幹雄	55	松山久義
6	伊理正夫	31	逆瀬川浩孝	56	宮沢政清
7	岩田 怜	32	猿渡康文	57	森清 堯
8	上田 徹	33	三道弘明	58	森戸 晋
9	上野信行	34	塩出省吾	59	森 雅夫
10	梅沢 豊	35	神 正照	60	安田一彦
11	大鑄史男	36	鈴木敦夫	61	安永通晴
12	大内 東	37	住田 潮	62	柳井 浩
13	大澤義明	38	高森 寛	63	山上 伸
14	大西匡光	39	田口 東	64	八巻直一
15	大山達雄	40	玉置光司	65	山下勝比拈
16	岡本吉晴	41	田村明久	66	山下 浩
17	小澤正典	42	時永祥三	67	山田郁夫
18	海生直人	43	刀根 薫	68	山田孝子
19	貝川健一	44	中川慶一郎	69	山田善靖
20	河合 一	45	中川義之		
21	川島幸之助	46	野村淳二		
22	木島正明	47	福川忠昭		
23	木村俊一	48	福島雅夫		
24	久保幹雄	49	伏見正則		
25	熊本和浩	50	前田忠昭		